

2017年 **8月号**
(No.431)
医療生協
宮崎医療生活協同組合
〒880-0824
宮崎市大島町天神前1175-3
発行 機関紙編集委員会



宮崎生協病院 ☎(0985)24-6877 FAX 29-4839
http://www1.ocn.ne.jp/~mcoop/
和知川原生協クリニック ☎(0985)23-0050 FAX 23-0303
このはな生協クリニック ☎(0985)58-1222 FAX 58-3110
おおつか生協クリニック ☎(0985)52-6715 FAX 51-9004
生協クリニックのべおか ☎(0982)26-7100 FAX 26-7101
訪問看護ステーションれいんぼう ☎(0985)23-7728 FAX 24-0515
訪問看護ステーションそれいゆ ☎(0982)31-1442 FAX 31-1452
生協ホームヘルパーそれいゆ ☎(0985)62-1384 FAX 24-0515
生協ホームヘルパーそれいゆ ☎(0985)24-8538 FAX 24-0515
居宅介護支援事業所宮崎生協病院 ☎(0985)24-6545 FAX 29-4839
居宅介護支援事業所宮崎生協病院 ☎(0985)26-2536 FAX 31-1452
宮崎医療生活協同組合 ☎(0985)23-7168 FAX 26-1944
http://www1.ocn.ne.jp/~mcoop/

「いつまでも住み続けられる宮崎」を実現しましょう

冒頭、日高明 義理事長が、今年も2名の新卒研修医を迎えることができました。また、奨学生も次々に生まれ、初期研修を終えられた先生が診療活動と専門研修も終了され再び生協病院で活動される先生も含め、病院も若い世代で活気づいてきました。

一方で私たちの暮らしは良くなっているのでしょうか。森友問題や自衛隊日報問題、復興の自己責任問題などの国内問題はありますが、安倍政権は戦争できる憲法改定を提起しています。働き方改革では過労死基準を超える残業の肯定や原発再稼働、沖縄の基地建設強化など、本場に「民主主義はあるのか」と言わざるを得ない現状です。

また昨年出された地域医療構想では、宮崎県の病床を33%削減する計画が決定されました。「少子高齢社会」で予算がないからという視点だけでなく、命や健康、環境問題は、「お金に代えられない、譲ることができない絶対的価値があります。宮崎医療生協は、生まれ、育ち、暮らしているこの宮崎を日本のどこよりも住みやすいまちにする、健康的なまちにする、理念を持っています。組合員さんとの共同で地域の方々と手をつなぎ、「いつまでも住み続けられる宮崎」を実現するために力を合わせましょう」と、あいさつしました。

☆議案の補正で、矢通寿子さん(県北支部元支部長)が県北支部の班づくりと減塩の取り組みについての報告を行いました。

第11号・2号議案の補正

各議案の提案、監査報告、宮崎生協病院の医療活動の報告後、質疑応答を行い、第1号議案から第6号議案まで全会一致または賛成多数で可決されました。

ブロック別総代会議での議案の報告と質疑を踏まえて

大田原良治専務理事が、2016年度の活動のまとめと決算、2017年度の活動の方針と予算の基本的な考え方、全国四課題と担い手づくり、経営の課題や平和と社会保障を守る取り組みなど、6つのブロック別総代会議で出された意見や質疑を踏まえて議案の説明をしました。

- 第1号議案 2016年度活動報告・事業報告・決算報告(監査報告含む)及び剰余金承認の件
- 第2号議案 2017年度組合員活動・事業計画・予算承認の件
- 第3号議案 役員選任規約の一部改正について
- 第4号議案 2017年度役員報酬限度額の件について
- 第5号議案 特別決議について
- 第6号議案 議案議決効力発生の件について

総代からの質問への回答

☆出資金増資の取り組み、職員の処遇、総代会議や附属明細書などについての質問が事前に出され、大田原専務理事が回答しました。

職員紹介と原水爆禁止世界大会参加に向けて

新任医師2名と新入職員8名の紹介がありました。8月7、8、9日に開催される「原水爆禁止世界大会(長崎大会)」に参加する職員から募金の訴えがあり、会場から62,316円が寄せられました。

体温計

最近、私の仕事(建築内装業)で、家の不用品の片付け整理、処分の依頼が多いです。▼両親が亡くなり、家に帰って来たいのですが、両親が使っていた物の中には使えない物が数多くあり、自分たちではどうにもならないという事でした。仕事を依頼される方も、六五歳以上の方がほとんどです。▼後継者の方々が整理処分される事になるので、自分自身が高齢になったら少しづつでも整理処分される事をお勧めします。▼宮崎市の人口は三九九、九七九人(平成二八年一〇月一日)、六五歳以上は一〇三、三三〇人(構成比二六・二%)。一〇年前、六五歳以上は七二、七二九人(構成比二二・九%)です。一〇年で三〇、六〇一人(四・三%)増加しています。平成三八年では構成比が三〇%を超えると見られています。▼健康で長生きするためにも身の回りの物を大切にすることが大切になると思います。(K・S)

クイズの答えはEメールでも受け付けております→ 「おげんきですか」へのご意見・ご感想をお寄せください。 Eメール:mcoop1030@ray.ocn.ne.jp



今、宮崎医療生協は
2017年6月末現在

- 新規加入者：109名(6/1~6/30)
- 総組合員数：48,990名
- 出資金：5億5,785万円
- 平均出資金：11,387円
- 班数：313班
- おげんきですか・手配り配布数：20,281部

「応募方法」
官製はがきに、答え、住所、氏名、電話番号をご記入のうえ、番号を記入のうえ、下記の宛先までお送りください。また、Eメールでも受け付けております。おげんきですか「おげんき」を添ったご意見・感想などもお書きください。正解者の中から抽選で5名の方に図書カードを差し上げます。メドは8月31日、当選者は10月号の紙面で発表します。

「送付先」
〒8800824 宮崎県大島町天神前二七五三三 宮崎医療生活協同組合 「生協クイズ」係宛 ※名前の書き忘れがありますのでご注意ください。

「7月号の答え」
(ア)③ (イ)② (ウ)①

「6月号当選者」(応募数15通)
中野富貴子さん(日向市) 黒木 敏行さん(宮崎市) 金丸 美央さん(宮崎市) 瀬戸内香央里さん(宮崎市) 押川えみさん(宮崎市)

「生協クイズ」 (No.139) (出題 編集委員会)

いま、安倍内閣の閣僚たちが何かにつけてマスコミに圧力をかけていますが、各新聞の性格を表しているのに、「朝日の天声人語」の様(一面の看板コラム)にみる事ができるのですが、次の新聞の「コラム」名はどれでしょう。

(1) 毎日 (2) 読売 (3) 産経
(4) 宮崎日日 (5) 琉球新報
(6) 南日本 (7) 日経

以下の題名から選んでください。

(い) 春秋 (ろ) 金口木舌 (は) 正論
(に) 編集手帳 (ほ) くらしお (へ) 余録
(と) 南風録

8月の診療案内

遠藤・高田・中島(循環器内科)、古谷・眞川(消化器内科)、高橋聡・永友(呼吸器内科)、植野(糖尿病内科)、浜田・高橋麻里子(内科・リハビリ)、関根(内科)、山岡・葉山・末岡(外科・肛門外科)、山元・上野・愛甲・久保(小児科)、坂口・松尾・小池(後期研修医)、堀・大野・谷口・黒木・合田(初期研修医)

宮崎生協病院					宮崎大島町天神前1171 ☎0985(24)6877					
午前		午後		夜間	午前		午後		夜間	
受付 8:00~11:15 診療 8:30~12:30	受付 14:30~16:30 診療 15:00~17:30	受付 17:00~19:35 診療 17:30~20:00	受付 8:00~11:45 診療 8:30~12:30	受付 8:00~11:45 診療 8:30~12:30	受付 14:00~17:00 診療 14:30~17:00	受付 16:30~19:00 診療 17:00~19:30	受付 8:30~12:30	受付 13:30~16:30 診療 16:30~19:00	受付 16:30~19:00 診療 17:00~19:30	
1診	2診	3診	4診	5診	1診	2診	3診	4診	5診	
月 交替制	交替制	遠藤	高橋聡	高橋麻里子 11:00~12:00 高橋聡 16:45~17:30 交替制	高田	山岡	1診:山元 2診:愛甲	上野 久保	山元 愛甲	久保
火 交替制	交替制	高田	植野	古谷	交替制	高橋聡	山岡	1診:久保 2診:山元	愛甲 上野	久保
水 交替制	交替制	遠藤	永友	眞川 10:30~12:00	第1・3・5週は休診 小牧 第2・4週	葉山	1診:愛甲 2診:久保	休診	愛甲	
木 遠藤	交替制	高田	古谷		小澤	交替制	休診	1診:上野 2診:愛甲	山元	交替制
金 遠藤	交替制	中島徹	高橋聡	高橋麻里子 11:00~12:00	交替制	交替制	葉山	1診:山元 2診:久保	久保	愛甲 山元
土 交替制	交替制	1週:高田 2週:高橋聡 3週:植野 4週:永友			休診	第1・3・5週 山岡又は葉山 第2・4週 末岡	交替制	受付 13:30~16:30 診療 14:00~17:00 交替制		

●土曜日夜間の内科・小児科外来は休診です。 ●受付時間変更のお知らせ 宮崎生協病院の一般内科の受付は11時45分から11時15分に変更となりました。但し、救急受け入れおよび他院からの紹介についてはこの限りではありません。また、内科予約・検査予約・外科・小児科の受付時間に変更はありません。地域の中で入院施設を持つ病院として、救急受け入れ及び紹介の受け入れを厚く、重症患者への対応の質を担保するためです。ご理解とご協力をお願いします。

おおつか生協クリニック
宮崎市大塚町大迫南平4401 ☎0985(52)6715

診療時間	午前	午後
月	8:30~12:30 (受付11:30)まで	16:00~18:00まで
火	浜田	休診(往診)
水	浜田	浜田 17:00~19:00
木	浜田	休診(往診)
金	浜田	交替制
土	浜田 第1土曜休診	休診

和知川原生協クリニック
宮崎市和知川原2丁目25-1 ☎0985(23)0050

診療時間	午前	午後	夜間
8:30~12:30 (受付12:00)まで		17:00~19:00まで	
月	日高	休診(往診)	交替制
火	日高		
水	日高		日高
木	日高		
金	日高	休診(往診)	日高
土	日高		第3土曜日は休診

●午後18時以降は往診等の為診察は行っておりません。夜間受付は18:45まで

このはな生協クリニック
宮崎市大字熊野1613 ☎0985(58)1222

診療時間	午前	午後
8:45~12:30 (受付12:00)まで	15:00~18:00まで	
月	中村	中村
火	中村	休診(往診)
水	中村	中村
木	中村	中村
金	中村	中村
土	中村	休診

通所介護 デイサービス
月曜日 ~ 土曜日
9:00~15:30

生協クリニックのべおか
延岡市浜砂1丁目5-17 ☎0982(26)7100

診療時間	午前	午後
9:00~12:30 (受付12:00)まで	15:00~17:30まで	
月	末岡	末岡
火	末岡	末岡
水	末岡	末岡
木	休診	交替制
金	末岡	末岡
土	休診	

通所介護 デイサービス
月曜日 ~ 土曜日
9:30~16:00

在宅総合ステーション れいんぼう
宮崎市和知川原2丁目25-1 (れいんぼう会館内)

- ・居宅介護支援事業所 ☎0985(24)8538
- ・訪問看護ステーション ☎0985(23)7728

在宅総合ステーション それいゆ
延岡市浜砂1丁目5番6号

- ・居宅介護支援事業所 ☎0982(31)1453
- ・訪問看護ステーション ☎0982(31)1442
- ・ホームヘルパーサービス ☎0982(26)2536

みんなの家
宮崎市大島町国草142-2
TEL 0985-75-0700

ぎおんの家
宮崎市祇園3丁目195番地
TEL 0985-61-7720

おおつかの家
宮崎市大塚町西ノ後3435番地1
TEL 0985-55-0025

◎介護保険の申請や相談については上記の居宅介護支援事業所にお問い合わせください。 入居者を募集しています。入居希望の方は、各介護施設または介護事業部 (0985) 23-7168 (介護部長 長友剛子) までご連絡ください。

第40回九州沖縄ブロック組合員交流研修会(みやぎ)



歓迎あいさつを行う村尻勝実実行委員長

7月5日、九州沖縄の10医療生協から469名の組合員さんが参加して、第40回九州沖縄ブロック組合員交流研修会が、宮崎観光ホテルを会場に行われました。

この研修会は九州沖縄の医療生協が持ち回りで行って毎年開催。今年も宮崎が主幹で、2年前から実行委員会を立ち上げ、組合員さんとの協力を頂きながら取り組まれました。

宮崎センター合唱団と宮崎医療生協の組合員みなさんによる歌の歓迎ではじまった全体会では、村尻勝実実行委員長が「九州沖縄ブロック組合員交流研修会も今回で40回目を迎えました。回を重ねるたびに大きな成果を得て、それぞれの生協の発展に大きく寄与してきたと思います。節目にあたる40回目の研修会の目的は、第一に九州沖縄ブロックの組合員活動の実践を持ち寄り意見交換を行い、お互いに学び合い、より豊かな組合員活動を広げる機会とする。二つ目は平和と暮らし、健康をめぐる情勢を学び、医療福祉生協連動への確信を培う場とする。三つ目は交流を通して、九州沖縄ブロックの連帯を深め、ブロック全体の運動発展の契機とする場とします。研修会を通して各生協の多彩な活動から知恵と力運動を学び、元氣な支部活動、班活動に生かすことです。交流と学習を通して、秋の強化月間へ向けた意思統一をはかりました。あいさつを頂きました。その後、宮崎医療生協の

協日高明義理事長が歓迎あいさつ、医療福祉生協連動組合員活動委員会の田辺修委員が「秋の医療生協強化月間の基調報告を行いました。4つの医療生協からの活動報告、伊藤一彦氏(宮崎県立図書館名誉館長)の「老いてこそ人生」と題しての記念講演、橋本太鼓(響座)の和太鼓演奏で、はじまった夕食交流会などが1日目の企画でした。

2日目は2つの中分科会と1日の小分科会に組合員さんが参加しました。平和社保・助け合い・まちづくり・組織づくり・健康づくりの分科会では、それぞれの医療生協の取り組みや支部活動の報告があり、「他県の医療生協の活動や取り組みが学べた」「私たちが支部でもやってみよう」との意見が寄せられました。

来年度の第41回九州沖縄ブロック組合員交流研修会は沖縄県で開催します。閉会式では村尻勝実実行委員長が沖縄の組合員さんへ横断幕を贈呈し、沖縄の組合員さんが「うちなーんかい、まじゅんめんそーりよーさい」と、次回開催アピールを行いました。

最後に、今回は九州北部豪雨の中での開催となりましたが、福岡県(筑後・久留米)・佐賀県・大分県から104名の組合員さんが参加しました。九州北部の医療生協の被災に遭われた組合員さん、心からお見舞い申し上げます(事務局 田中裕人)



全体会のオープニング



469名の組合員さんが参加した全体会

記念講演



講演する伊藤一彦氏

伊藤一彦氏(宮崎県立図書館名誉館長)を講師に招き「老いてこそ人生」と題して記念講演を行いました。「老いることにはありがたうけれど、理想の理想です。短歌の歴史は1,300年続いています。日本人が心を表現したのが短歌。昨年度の短歌の全国大会では3,000人から4,869首の短歌が寄せられました。俳句には季語がありますが、短歌は57577で決まりはあります。自分の思いを表現すればいいのです。短歌をつくり自分の思いが書けていくのがいい。未来に希望がみえたい人もいます。90歳、100歳代の短歌をユモラスに紹介しながら参加者に元氣を与える記念講演でした。

4つの医療生協からの活動報告

奄美医療生協は「びょういん探検隊」ゆいの島の後継者対策、佐賀県医療生協は「地域での『見える化』目指した『健康まつり』について、鹿児島島医療生協は「震災復興支援の取り組みについて」報告があり、宮崎医療生協からは「小松台地区つながりマップづくりの取り組み」と題して小松支部運営委員の立川沢子さんが「私たちの地域で高齢者が健康で暮らし続けられるまちづくりを目指して、健康づくり、居場所づくり、見守り活動が担えるよう、みんな楽しく活動していきたい」と報告しました。



自由交流会 宮崎ひよとこ公民話 大分県医療生協

夕食交流会

橋本太鼓(響座)の和太鼓演奏ではじまった夕食交流会に416名の組合員さんが参加しました。47の円卓に各県の組合員さんが同席。食事を囲みながら交流を深めました。舞台では6つの医療生協があいさつ、4つの医療生協が出し物を披露しました。4つの出し物は、くろめ医療生協が「また逢いましょう」お元氣を振付しながら歌を、大分県医療生協は「日旅立ちの曲に合せて体操」、沖縄医療生協が「沖縄をかせえ」などを三線の演奏に合わせ、唄い、宮崎から宮崎ひよとこ公民話会が「ひよとこ踊り」を披露しました。交流会の最後はみんな「ひよとこ踊り」を踊り、2時間の交流会は盛会の内に終わりました。また初めて参加した、また初めて参加のいきいきこいっぴからあいさつがありました。その後、交流会を移した自由交流会では約200名が集まり、歌声や歓談でさらに交流を深めました。

高年齢者の見守り・サロンなど

自分の住んでいる地域の足場を固めることで、人と人とのつながりを強めることができ、地域の声に積極的に耳を傾け、要求にだけ応えていくことが重要です。医療生協として自治体・行政に運動を起こしていくのが今後の課題です。

組合員加入と出資金増資、月間の取り組みなど

班づくりは人づくり。班長の役割が重要です。グラウンドゴルフなどの楽しい企画や地域の老人クラブにも出かけ、医療生協の理念や思いを語り伝えながら組合員仲間を増やしましょう。若い世代への取り組みもこれからは大切ですね。

保健学校の取り組みなど

保健学校や健康チャレンジ、あいさつベ体操や健康インストラクター養成講座など、各生協とも取り組んでいます。医療生協の病院やクリニックのない地区(支部)では、班会で「健康予防の学習」なども進めましょう。また健康手帳も活用しましょう。

<p>＜13の分科会＞</p> <p>中分科会:「私の中の『戦争』と『平和』」</p> <p>平和社保①:「八紘一宇(平和の塔)学習会」</p> <p>平和社保②:「署名・集会・原発・沖縄基地問題など」</p> <p>助け合い①:ボランティア活動など</p> <p>助け合い②:防災と災害支援の取り組みなど</p> <p>まちづくり①:地域訪問・つながりマップなど</p> <p>まちづくり②:高齢者の見守り・サロンなど</p>	<p>中分科会:「地震と原発」</p> <p>組織づくり①:組合員加入と出資金増資、月間の取り組みなど</p> <p>組織づくり②:班会開催メニュー・組合員活動の楽しい行事など</p> <p>健康づくり①:健康学校の取り組みなど</p> <p>健康づくり②:リハビリ体験「認知症・介護予防体操」</p> <p>健康づくり③:「ウチノ知育教室」</p>
--	---

原水爆禁止国民平和大行進が宮崎県内を進む

原水爆禁止国民平和大行進は1958年6月、被爆地広島から第4回原水爆禁止世界大会が開かれる東京に向けての行進として夏まじりでした。雨の日も風の日も、夏の暑さの中でも毎年続けられて今年で59年目を迎え、全国47都道府県をつなぎ、毎年約10万人が参加しています。宮崎・長崎ルートは6月23日、えびの市役所を出発し県内を縦断。6月24日(土)には宮崎市役所玄関前で出発集会があり、約40名の宮崎医療生協の組合員と職員をはじめ多くの団体、市民等約300名が参加しました。

集会はこの日の団長の宮崎県議・前屋敷えみさんが「ニューヨークの国連本部で開かれた核兵器禁止条約交渉会議の第1会期(3月27日~31日)に続き、第2会期の今回(6月15日~7月7日)も日本政府は参加していません。核兵器のない平和な世界を実現することは世界の流れです。先頭に立つべき被爆国・日本政府の態度は許せません。交渉のテーブルに直ちに参加するよう要求します。わたしたちは核兵器禁止・廃絶の『ババク』国際署名を周りに人たちに広く呼びかけ、草の根の運動を強めて禁止条約をつくり発効させ、核兵器のない世界を実現しましょう」と呼びかけました。

激務の挨拶では、宮崎市の佐伯公博総務部長から「北朝鮮の核兵器実験は許せません。被爆国の国民として核兵器の悲惨さを世界に発信することが私たちの重要な責務です。つづいて後藤泰樹宮崎市長は「核兵器廃絶へと向かう画期的な年になります。核兵器禁止条約ができると『核兵器は違法』の国際ルールが確立します。宮崎市の6月議会でも戸敷市長も『核兵器禁止条約の制定により核兵器のない世界が実現することとを心に願う。今後とも他の自治体等と連携しながら核廃絶と世界平和の実現に向けた取り組みを進め



約300名が宮崎市橋通りを行進

たい「核兵器廃絶のための署名を行うなどの協力をしていきたい」との答弁があったとの紹介に、集会参加者から大きな拍手がありました。また、宮崎・長崎コースの通し行進者として東京から参加されている山田太枝さん(71才)からは「平和行進を通して核兵器廃絶を願う90歳代から若者までの多くの方々にお会いし、素晴らしい平和の体験をしています。ともすれば悲観的になりがちですが、世界の将来に希望が見えてくるほどの感銘を受け歩いています。行進が59年続いている歴史にも驚きました。

平和への願いは諦めたら終わりです」と、元氣の出る挨拶がありました。この日の行進は、横断幕を下り出し、その空模様の下、断断幕を先頭にノボリやプラカードを掲げて市役所前をスタート、沿道の市民に核のないより良い世界と平和を呼びかけながら橋通りを北上しました。終点の九州電力宮崎支店前では、「再び被爆者をつくるな」核兵器をなくせ、「平和のために歩こう」と、シュプレヒコールを行いました。

平和行進は7月2日、延岡市内を行進し、大分県へと引き継がれました。宮崎医療生協から延岡と東部分部の組合員さんが参加しました。(組織部)

みんなの声

◎ウォーキングの効果を読み、自分でできる運動で続けてみたいと思いました。(宮崎市Fさん女性)

虹の声 宮崎生協病院虹の意見箱

◎生協病院には長い間お世話になり、入院も何度もしています。もちろん昔から看護師さんはやさしく配慮があり感謝の一言ですが、今回はまた一段とプロ意識というかマナーや機敏な動き等、レベルアップされていると感じました。患者にとって安心ができる病院だとつくづく感じました。ほんとうにありがとうございました。

◎お褒めの言葉ありがとうございます。引き続き職員の向上に努めて参ります。

審議・決定事項

- ①6月度の組合員活動の概要と各種委員会の取り組みについて報告がありました。6月の組合員増やしは109名(目標119名)と目標を下回りましたが、出資金増資は431.2万円(目標326.5万円)と目標を達成しました。班づくりは0班(目標8班)、班会開催は90班(目標97班)でした。
- 第28回通常総代会は総代数225名(1名辞退)。本人出席174名、書面議決出席10名、委任状22名の計206名で議決権を行使しました。参加者はオブザーバー、理事監事、職員含め260名でした。通常総代会のまとめの報告を受けて運営の仕方など、改善課題について意見交換を行いました。
- 第40回九州沖縄ブロック組合員交流研修会(みやぎ)の報告がありました。宮崎からは179名、全体で469名の参加でした。各分科会の報告や運営のあり方などについての意見がありました。
- ②平和と社会保障を守る取り組みについて提案がありました。「沖縄の慰霊の日」浜岡再稼働に知事反対「こども貧困7人に1人」「改憲案について」「16年度の心の病労災認定最多、過労死、自殺も高止まり」について報告がありました。
- ③5月度(＆累計)の経営概況について報告がありました。5月の法人の経常利益は887.2万円(予算差▲5.1万円)、累計では▲161.7万円(予算差▲340.3万円)の到達でした。
- また、事業所別の自己資本の推移、資金繰りについての報告もありました。
- ④役員報酬検討委員会の答申を行いました。
- ⑤監事より本部監査について報告がありました。また2017年度監査方針についての提案を受けました。
- ⑥医療福祉生協連監事集会への参加についての提案がありました。

報告・承認事項

- ①6月度事業所活動について報告・承認しました。
- ②6月度医療安全管理委員会について報告・承認しました。
- ③6月度宮崎生協病院利用委員会について報告・承認しました。
- ④6月度県連宮崎県連看護委員会について報告・承認しました。
- ⑤6月度県連介護事業所責任者会議について報告・承認しました。
- ⑥6月度経営協議会について報告・承認しました。
- ⑦第27期23回、第28期第1回常勤理事会について報告・承認しました。
- ⑧宮崎県民医連第1回理事会について報告・承認しました。
- ⑨宮崎県生協協第2回幹事会について報告・承認しました。
- ⑩人事について報告・承認しました。
- ⑪春闘妥結内容について報告・承認しました。

2017年7月度 理事会の報告(7月8日開催)

おげんきですか文芸欄

野を焼きて目を覚ましたる阿蘇五岳
木の実植う少し猫背の翁かな

田中恵美子さん(小松支部)

「お問い合わせ」
組織部 0985-31-6005



新運営委員の小川三枝子さんを紹介します。プロフィールは宮崎や住吉公園などのボランティアの運営委員さんの誘いで、4月から運営委員として活躍されています。4月から5月にかけては「おげんきですか」の手配りは数件の配布を頑張っています。健康づくり委員会や健康チェック、学習会などの各種行事にも快く参加され、気軽で明るい運営委員さんです。(住吉支部運営委員一同)